

## 第4学年 学級活動(2)指導案

平成21年12月17日(木) 5校時 4学年教室

T1:学級担任

T2:栄養教諭

- 1 題材名 「食事マナーの名人になろう」  
 ((キ) 食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成)

2 題材設定の理由

児童は給食の時間を楽しみにしており、給食当番を中心に協力しながら準備をし、会食を楽しんでいる学級である。食事マナーについては、折に触れて注意を喚起しているが、学級全体の傾向として

- ・ひじをついたり、前かがみになっている
- ・足を広げて食べている
- ・器を持たない
- ・横向きで食べている

などが、あげられる。

一方、年末年始は様々な人と会食する機会が多くなることから、冬休みに入る直前のこの時期に自分の食事マナーを振り返り、改善しようとする事は、望ましい食習慣の形成をしていく上で意義深いと考える。また、自分自身の食事風景を見て「見られている自分」の存在に気づき、自らを律しようとする意識を高めることも必要である。そこで、「食事マナーの名人」という理想像の共有化を通して、自ら食事マナーを守って食べようとする、自主的な態度を身につけさせたいと考え、本題材を設定した。

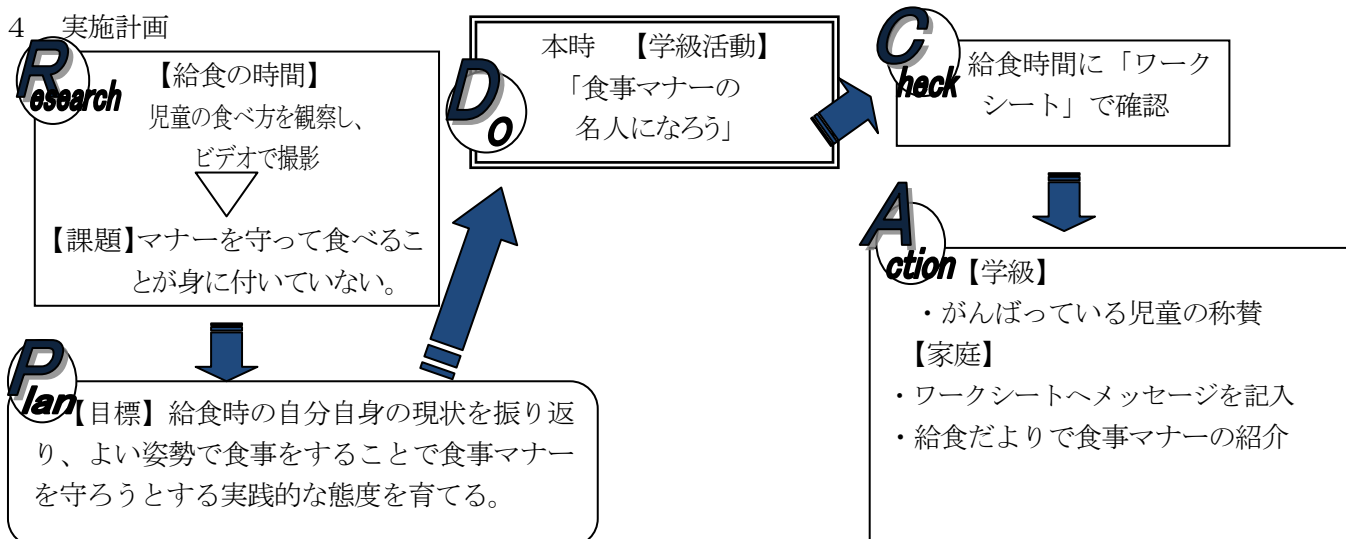
本時ではまず、給食の時間の食事風景を撮影したビデオを見て、食事をしている自分の背中、手、肘、足、体の向きをワークシートで確かめ、気づいたことを話し合う。次に、食事マナーの必要性やどのような姿勢が食事マナーを守っていることなのかを話し合ったり実際にやってみたりする。最後に、これらの活動を通し、よい食事マナーで食べる「食事マナーの名人」を目指して、実践目標を具体的に考えさせることにより改善につなげたい。

指導にあたっては、ビデオ視聴の着目点を明示することで、余計な情報に目を奪われずに集中してチェックできるようにする。また、これらの着目点を食事マナーの名人になるための着目点につなげ、学級全体で実践の意欲を喚起していきたい。

3 ふくしまっ子食育指針「食べる力」との関連

食べる力の要素	○期待する姿
一緒に楽しく食べる	○ 家族や友達との会話を楽しみ、食事マナーを身に付ける。

4 実施計画



## 5 本時の目標

給食時の自分自身の現状を振り返り、よい姿勢で食事をする事で食事マナーを守ろうとする実践的な態度を育てる。(関心・意欲・態度)

- 自分の食事の仕方を振り返り、よい姿勢の食事の仕方を判断することができる。
- 食事マナーの必要性を理解し、これから実践していく食事のマナーを具体的に決めることができる。

## 6 展開

段階	学習活動・内容	時間 形態	指導上の留意点 ※評価		資料
			T 1	T 2	
活動の開始	<p>1 食事中によく注意される食べ方を思い出し、課題意識を持つ。</p> <p>&lt;予想されるつぶやき&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ひじをつかない</li> <li>・姿勢が悪い</li> </ul> <p>2 本時のめあてを知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">食事マナーの名人になろう</div>	3分一斉	○ 毎回同じようなことを注意される不快感に気づかせ、課題意識を持たせる。		
活動の展開	<p>2 給食の時間の食事風景を視聴し、気づいたことを話し合う。</p> <p>&lt;予想される発言内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ひじをついている</li> <li>・茶碗をもっていない</li> <li>・横を向いている</li> </ul> <p>3 食事マナーの必要性を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・こぼさず食べられる。</li> <li>・見た目がよく、一緒に食べていて気持ちがいい。</li> <li>・食事マナーは社会で暮らすためのルールである。</li> </ul> <p>4 よいと思う姿勢を実際にくっってみる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・背中を伸ばす</li> <li>・ひじをつかない</li> <li>・食器を持つ</li> <li>・料理がある方を向く</li> <li>・ひざをそろえる</li> </ul> <p>5 食事マナーの名人を表す、短いことばを考える。</p>	<p>10分一斉</p> <p>3分一斉</p> <p>15分一斉</p> <p>5分一斉</p>	<p>○ 背中、手、肘、足、体の向きに着目し、食事をしている自分の姿勢を確かめられるようにする。</p> <p>○ いつも気をつけていないと、すぐにはできないことに気づかせる。</p> <p>○ よいと思う姿勢をとらせ、気をつけたところを発表させる。</p> <p>○ よい姿勢を短いことばで表現することで、描いているイメージを明確にできるようにする。</p>	<p>○ 食事マナーの必要性には様々な理由があるが、ねらいを焦点化するために、ここでは姿勢に限定する。</p> <p>(発表内容を板書する。)</p>	給食の時間の食事風景を撮影した映像ワークシート

			※自分の食事の仕方を振り返り、よい姿勢の食事の仕方を判断できたか。(発表)	
活動のまとめ	5 これから改善していく、食事マナーを決め、発表する。	10分個別	<input type="radio"/> 具体的なめあてを持つことができるよう個別に支援する。 ※ 食事マナーの必要性を理解し、これから実践していく食事のマナーを具体的に決めることができたか。(発表・ワークシート) <input type="radio"/> 各自が決めためあてを実践するように励ます。	ワークシート

### 7 評価規準

- 自分の食事の仕方を振り返り、よい姿勢の食事の仕方を判断することができる。(思考・判断)
- 食事マナーの必要性を理解し、これから実践していく食事のマナーを具体的に決めることができる。(技能・表現)

### 8 準備・資料等

給食の時間の食事風景を撮影したビデオ ワークシート

### 9 板書計画

食事のマナー名人になろう 食事の様子を見て気づいたこと <ul style="list-style-type: none"> <li>・ひじをついている</li> <li>・茶碗をもっていない</li> <li>・横を向いている</li> </ul>	食事マナーが必要な理由 <ul style="list-style-type: none"> <li>・こぼさず食べられる。</li> <li>・見た目がよく、一緒に食べていて気持ちがいい。</li> <li>・社会で暮らすためのルール。</li> </ul>	食事のマナー名人は <ul style="list-style-type: none"> <li>・背中がシャキーン</li> <li>・</li> </ul>
--	--	--

めあて 「食事マナーの名人になろう」

- 1 自分のしせいを チェックしてみましょう。  
 ☆ せなか 手 体のむきに 注目してみましょう。  
 わかる人は 足にも注目してみましょう。

・せなかは、ピンとのびていましたか？	はい	いいえ
・ひじをつかずに食べていましたか？	はい	いいえ
・食器をもって食べていましたか？	はい	いいえ
・体が自分の机の方にむいていましたか？	はい	いいえ
☆ わかる人は		
・足がゆかにぴったりついていましたか？	はい	いいえ

- 2 食事マナーの名人になるために、わたしがなおすところを決めましょう。

- 3 めざせ、食事マナーの名人！（まずは 給食の時間から始めましょう。）

12月	自分で決めた「なおすところ」を守って食べることができましたか (◎○△をつけましょう)	よかったところを かきましよう。
17日 (水)		
18日 (木)		
19日 (金)		
20日 (土)		
21日 (日)		

おうちのかたから ひとことおねがいします。



12月22日(月)に 先生へ出しましょう。